

## 行政評価シート(令和元年度実施事業)

### 1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	総合福祉施策推進事業			財務会計上の事業名	総合福祉施策推進事業（委員報酬事業）
第3期実施計画の区分章/節（施策）/項目/事業番号	2	1	1	1	担当部署名 高齢・福祉総務課
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節（施策）	第1節福祉社会の推進			
	項目	項目1 地域福祉活動の推進			

### 2 事業の概要

実施期間（第3期実施計画期間）	令和元年度～令和4年度
事業内容	福祉施策全般における市民各層の意見反映のため、総合福祉施策推進審議会を開催する。
めざす姿（目標）	総合福祉施策推進審議会を開催し、外部の有識者らに福祉施策の見解を求めることで、福祉施策を推進する。
事業の対象（誰を、何を）	福祉施策について
事業の手段・方法（どのように）	総合福祉施策推進審議会を開催し重要事項について調査審議する。
実施形態（直営/委託）	直営
関連計画	

### 3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	51	0	125	指標値 (活動・成果)	開催数	1回/年	0回/年	1回/年
主な内訳								
委員報酬	51	0	125					
財源				☆成果の達成状況	B.順調に推移していない			
国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	新型コロナウイルス感染症予防のため令和元年度は開催を中止したため。			
地方債								
その他( )				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
一般財源 C	51	0	125	・上記「有効性・効率性」選択の理由	特に問題ないため。			
一般財源比率 C÷A	100.0%		100.0%					
受益者負担率 B÷A								

### 4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

### 5 事業の現状と今後の見通し

<p style="text-align: center;">本事業をとりまく状況の変化（社会情勢・ステークホルダー・要望等）</p> <p>各法令の改正や、新型コロナウイルス感染拡大による影響もあり各制度で対応が必要となっている。</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後（令和3年度以降）の事業の方向性
	<p style="text-align: center;">現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 今後の開催時期について検討を行う。 （例年年度末の開催であったが、令和2年度は前年度の審議会を中止した影響で7月に開催するため。）</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	社会福祉協議会補助事業				財務会計上の事業名	社会福祉協議会補助事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	2	1	1	2	担当部署名	高齢・福祉総務課
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち				
	節(施策)	第1節福祉社会の推進				
	項目	項目1 地域福祉活動の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	社会福祉の活動拠点としての役割を担う社会福祉協議会に対して、補助金を交付する。
めざす姿(目標)	新たな事業型社会福祉協議会をめざしつつ、地域福祉活動を促進し、地域で支えあう社会を実現する。
事業の対象(誰を、何を)	池田市社会福祉協議会
事業の手段・方法(どのように)	補助金の交付
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	108,865	109,780	108,984		人件費・施設管理・各事業の補助	5事業	5事業	5事業
主な内訳	補助金	108,865	109,780	108,984				
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金	15,437	15,437	15,437	・上記「達成状況」選択の理由	社会福祉協議会への支援を行うことにより、地域福祉活動の民間拠点として組織基盤の充実が図れたため。		
	地方債							
	その他( )				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
一般財源 C	93,428	94,343	93,547	・上記「有効性・効率性」選択の理由	委託事業に加え、地域福祉に精通している社協が主体となるべき事業に対して補助を行っているため。			
一般財源比率 C÷A	85.8%	85.9%	85.8%					
受益者負担率 B÷A								

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>コロナ禍における地域福祉のあり方を検討し、引き続き多岐にわたる事業展開を目指す。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>・人材事業が固定化されている。 ・コロナ禍における事業展開</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 地域福祉の重要な担い手であり、人材確保及び事業展開継続のため、必要な補助は今後も継続すべきである。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	コミュニティソーシャルワーカー設置事業			財務会計上の事業名	コミュニティソーシャルワーカー設置事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	2	1	1	3	担当部署名 高齢・福祉総務課
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節(施策)	第1節福祉社会の推進			
	項目	項目1 地域福祉活動の推進			

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	地域住民や団体の福祉活動の技術支援や、福祉制度に乗らない狭間の人々など要介護者の自立生活に向けての支援を行うため、コミュニティソーシャルワーカーを配置する。
めざす姿(目標)	多様化する社会情勢から福祉制度の狭間の要介護者の自立を促進する。
事業の対象(誰を、何を)	高齢者、障がい者、子育て世代や福祉の制度に乗らない狭間の人々など要支援者に対する地域住民、団体グループの福祉活動
事業の手段・方法(どのように)	市内に4名のコミュニティソーシャルワーカーを設置し支援する。
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	
	(決算)	(決算)	(予算)		
事業費(千円) A	11,988	14,472	18,943	コミュニティソーシャルワーカー相談延べ人数	
主な内訳	委託料	11,988	14,472	支援件数	
財源	国・府支出金	9,173	10,433	12,323	☆成果の達成状況 ・上記「達成状況」選択の理由
	地方債				
	その他( )				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか
	一般財源 C	2,815	4,039	6,620	・上記「有効性・効率性」選択の理由
一般財源比率 C÷A	23.5%	27.9%	34.9%		
受益者負担率 B÷A					

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
3166人	4908人	3500人
943件/年	785件/年	1200件/年
A.順調に推移している		
ある程度の相談件数があり、実績も重ねている。		
B.改善の余地がある		
ある程度の相談件数があり、対応はあるものの、対象相手が偏っている傾向にある、もっと気軽に相談ができるよう周知活動が必要である。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>ひきこもり、ニート、親子関係等、多様化する社会情勢に対応しなくてはならない。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>個別支援と地域支援の両方の役割を担い、業務量が多い中、今後も相談件数が増加すると思われるが、各々に適切な支援ができるかが課題。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 役割・体制を見直しながら、制度の狭間や複合的な課題を抱えた相談者に対応する必要不可欠な業務であるため継続する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	民生委員児童委員事務事業				財務会計上の事業名	民生委員児童委員事務事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	2	1	1	4	担当部署名	高齢・福祉総務課
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち				
	節(施策)	第1節福祉社会の推進				
	項目	項目1 地域福祉活動の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	団体の育成、助長を図るため、民生委員児童委員協議会に対して、補助金を交付する。
めざす姿(目標)	民生委員児童委員協議会活動を支援し、活動しやすい環境整備・認知度アップを図り、より良い地域づくりを推進する。
事業の対象(誰を、何を)	民生委員児童委員
事業の手段・方法(どのように)	活動費として補助金を交付し、民生委員児童委員協議会の活動を支援する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	・第3期池田市地域福祉計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	
	(決算)	(決算)	(予算)		
事業費(千円) A	2,569	2,584	2,569		
主な内訳	補助金	2,481	2,481	民生委員児童委員数	
	保険料	88	103	88	主任児童委員数
財源	国・府支出金	228	223	205	☆成果の達成状況
	地方債				
	その他( )				・上記「達成状況」選択の理由
	うち受益者負担 B				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか
	一般財源 C	2,341	2,361	2,364	A.有効的である(改善の余地がない)
一般財源比率 C÷A	91.1%	91.4%	92.0%	☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)
受益者負担率 B÷A				・上記「有効性・効率性」選択の理由	地域の身近な相談員として適切な人数を確保され、関係機関及び地域住民との連携がはかられているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>H27年度より、徘徊高齢者探索システム(GPS)の加入者等を支援するため、認知症徘徊高齢者家族に対する情報活動等を民生委員に行ってもらっている。今後もこのような取り組みが増加するものと思われる。また、毎年7月頃に75歳以上の方(健康保険等を使用していない方など)の安否確認等も行っている。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>民生委員とはどのようなことを行っているかを知ってもらう必要がある。また、民生委員児童委員の高齢化が進み、次世代の民生委員児童委員の育成が必要である。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 今後も地域の方への見守り活動等を行うことによって、一人暮らしの高齢者やお体の不自由な方へのサポート役として事業を継続していく必要がある。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	社会福祉団体活動補助事業				財務会計上の事業名	社会福祉団体活動補助事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	2	1	1	5	担当部署名	高齢・福祉総務課
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち				
	節(施策)	第1節福祉社会の推進				
	項目	項目1 地域福祉活動の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	社会福祉団体事業活動及び関係団体が主催する行事・イベント活動に対して、補助金を交付する。
めざす姿(目標)	社会福祉を行う団体の活動を支援することで、社会福祉の増進を図る。
事業の対象(誰を、何を)	社会福祉団体(民生委員児童委員協議会・保護司会・更生保護女性会・赤十字奉仕団)の事業活動及び関係団体が主催する行事・イベント
事業の手段・方法(どのように)	補助金により助成する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	・第3期池田市地域福祉計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	130	130	200		補助金交付団体	2団体	2団体	2団体
主な内訳	補助金	130	130	200				
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	社会福祉団体の活動に対し必要な補助金を交付したため。		
	地方債							
	その他( )				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
一般財源 C	130	130	200	・上記「有効性・効率性」選択の理由	社会福祉団体の活動に補助金を交付することにより、社会福祉の増進に役立てられていると考えられるため。			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>超少子高齢社会において、社会福祉団体の担い手の確保はますます難しくなっている。また、新型コロナウイルス感染拡大により各団体の活動も中止・縮小せざるを得ない状況となっている。</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
	<p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 今後も社会福祉団体の活動に対し、必要に応じて実施していく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	福祉基金積立事業				財務会計上の事業名	福祉基金積立事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	2	1	1	6	担当部署名	高齢・福祉総務課
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち				
	節(施策)	第1節福祉社会の推進				
	項目	項目1 地域福祉活動の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	福祉基金の積立を行う。
めざす姿(目標)	積み立てた基金を適切に管理し、福祉施設の整備・拡充、地域福祉の推進を図る。
事業の対象(誰を、何を)	福祉設備や福祉事業
事業の手段・方法(どのように)	福祉設備の整備・拡充のために、基金を適切に管理する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	・第3期池田市地域福祉計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	4,819	4,464	184		福祉基金	4,819千円	4,464千円	4,500千円
主な内訳	福祉基金	4,819	4,464	184				
					☆成果の達成状況	A.順調に推移している		
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	基金を適切に管理し、積み立てを行っている。		
	地方債							
	その他(みんなで作るまちの寄付金)	4,819	4,464	184	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
一般財源 C	0	0	0	・上記「有効性・効率性」選択の理由	基金を積み立てることにより、福祉事業の充実が図れる。			
一般財源比率 C÷A								
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>高齢者の人口の増加や、新型コロナウイルス感染症の拡大により新たな福祉事業が行われる可能性がある。</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
	<p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》</p> <p>継続して基金の積み立てを行い、福祉事業の推進を図る。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	保健福祉総合センター管理運営事業				財務会計上の事業名	保健福祉総合センター管理運営事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	2	1	2	1	担当部署名	高齢・福祉総務課
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち				
	節(施策)	第1節福祉社会の推進				
	項目	項目2保健福祉総合センターの機能充実				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	保健福祉総合センターの適切な管理運営を行う。
めざす姿(目標)	指定管理者制度により、保健・福祉サービスの一体的な提供と地域福祉活動を行い、地域福祉の基幹施設と保健・福祉サービス提供の拠点としての機能の充実と活用を推進する。
事業の対象(誰を、何を)	個人及び団体
事業の手段・方法(どのように)	イベント・講座等
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)					
	(決算)	(決算)	(予算)										
事業費(千円) A	37,208	38,255	39,863	利用者数	106,534人/年	71,365人/年	120,000人/年						
主な内訳	委託料	37,208	38,823										
	修繕料		900										
	器具費		140										
☆成果の達成状況					A.順調に推移している								
財源	国・府支出金			・上記「達成状況」選択の理由	誰もが安心して利用できる地域に開かれた管理運営を行っている。令和元年度については、新型コロナウイルス拡大防止のため各種会議や講座が中止になったため利用者が減少しているものである。								
	地方債												
	その他(雑入)	11,792	11,399						11,561	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B									☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
	一般財源 C	25,416	26,856						28,302	・上記「有効性・効率性」選択の理由	平成29年4月より指定管理者として賑わいのある管理運営を行っている。		
一般財源比率 C÷A	68.3%	70.2%	71.0%										
受益者負担率 B÷A													

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行い、イベント、講座等を行っていく必要がある。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>平成29年4月より指定管理者として賑わいのある管理運営を行う中で、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行いながらセンターの利用促進を図っていく。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 指定管理の契約が令和3年度まであり、新型コロナウイルス感染拡大防止策をとりながら、管理運営を行っていく必要がある。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	保健福祉総合センター改修事業				財務会計上の事業名	保健福祉総合センター改修事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	2	1	2	2	担当部署名	高齢・福祉総務課
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち				
	節(施策)	第1節福祉社会の推進				
	項目	項目2保健福祉総合センターの機能充実				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和2年度
事業内容	市民の健康増進及び保健サービスの拠点としての機能充実を図るため、池田保健所の誘致に必要な環境を整備すべく、保健福祉総合センターを改修する。
めざす姿(目標)	令和2年度末を目途に、保健福祉総合センターの改修を完了する。
事業の対象(誰を、何を)	保健福祉総合センター
事業の手段・方法(どのように)	池田保健所を誘致すべく改修する。
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	0	1,188	0	改修工事	-	-	中止	完了
主な内訳	0	1,188	0					
設計委託料								
財源				☆成果の達成状況	C.判断できない			
国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	計画が変更となったため。(詳細は「5 事業の現況と今後の見通し」参照のこと)			
地方債								
その他( )				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
一般財源 C	0	1,188	0	・上記「有効性・効率性」選択の理由	計画が変更となったため。(詳細は「5 事業の現況と今後の見通し」参照のこと)			
一般財源比率 C÷A		100.0%						
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現況と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>(仮称)満寿美公園を整備するための用地の買収による池田保健所の保健福祉総合センターへの移転計画に伴い、同センター改修工事にに向けた設計業務を進めていたが、令和元年9月に公園整備を見直し、池田保健所の移転を取りやめることとなったため改修工事の設計業務を中止した。</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
	<p>廃止</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 上記の理由により池田保健所の移転が取りやめとなり、保健福祉総合センター改修の必要性がなくなったため。</p>



行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	地域自殺対策強化事業				財務会計上の事業名	地域自殺対策強化事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	2	1	3	1	担当部署名	障がい福祉課
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち				
	節(施策)	第1節福祉社会の推進				
	項目	項目3やさしいまちづくりの推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	自殺念慮に至る方々に対する相談支援体制を充実させるとともに、ゲートキーパー養成講座を実施し、自殺対策に取り組む。
めざす姿(目標)	関係機関との連携強化や啓発活動を行い、自殺を予防する。
事業の対象(誰を、何を)	自殺念慮に至る市民
事業の手段・方法(どのように)	対面型相談支援・電話相談支援・人材養成事業・電話相談啓発事業
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	・池田市地域自殺対策計画 ・第5期池田市障害者計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)
	(決算)	(決算)	(予算)	
事業費(千円) A	1,125	283	283	ゲートキーパー研修受講者数
主な内訳				
計画策定委託料	842			
地域自殺対策事業委託料	283	283	283	
財源				☆成果の達成状況
国・府支出金	301	139	141	・上記「達成状況」選択の理由
地方債				
その他( )				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか
うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか
一般財源 C	824	144	142	・上記「有効性・効率性」選択の理由
一般財源比率 C÷A	73.2%	50.9%	50.2%	
受益者負担率 B÷A				

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
ゲートキーパー研修受講者数	20人/年	13人/年	50人/年
☆成果の達成状況	A.順調に推移している		
・上記「達成状況」選択の理由	ゲートキーパーを養成し、自殺念慮に至る者及び家族の支援を学習する。		
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	B.改善の余地がある		
☆事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある		
・上記「有効性・効率性」選択の理由	自殺念慮の気づきを目的とするゲートキーパー養成研修を実施する。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>自殺対策基本法に規定された「池田市自殺対策計画」を策定し、関係機関と連携し自殺者数の減少を目指す。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>若年層の自殺対策を課題とし、自殺対策につながる教育を進める必要がある。専用電話による相談事業を継続し、専門機関への支援につながるよう相談窓口等周知が課題である。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 相談しやすい窓口としてのゲートキーパー養成研修の充実及び自殺相談窓口の周知を課題とし、今後も自殺者数の減を目標とし、事業を継続していく。</p>